

「延世大学校スプリングスクール参加報告書」

京都大学医学部人間健康科学科4年 水原 萌

今回延世大学スプリングスクールに参加し、大韓民国という国に初めて渡り、初めて経験することがたくさんあったのと、韓国語の語学自体だけではなく、国のことや、歴史背景、国民性が見られる本当にいい機会だったと思っています。

まずは学習効果について書こうと思います。日本を出る前に私は1年間朝鮮語の授業を全学共通科目の中で受けてきました。授業外でも韓国人の友達と話し、積極的に韓国語を学ぼうとしてきましたが、なかなか上達しませんでした。韓国に行き、一番大きく変わったのは語彙力です。まだまだ少ない語彙力で、会話の途中で困ることは多いですが、それでも、日本ではたくさん単語表を見て覚えようと思っていてもなかなか定着しなかった単語や、初めて聞いた単語がたくさん定着しました。これは現地ならではの学習におけるメリットなのではないかと感じました。

語学以外での学びとしては、日本人の若者は日本の歴史についてあまり考えておらず、他の国の学生からの質問に答えるのが難しいということでした。そう思ったのも、留学中に延世大学のインターナショナルの学生のインタビューを受けたり、ディスカッションをする機会がありました。その中で質問が、日本の戦後についてというものでした。もちろん戦争があった事実は知っていますが、それ以降の歴史というものをしっかり考えたことはなかったなと反省しました。他の国に行く前に日本のことをもっと学んでおくべきだと思いました。そして、元々韓国と日本の間の問題には興味があったのですが、現地の学生とディスカッションし、お互いが思っていることを話すことで、やはり教育が違うからすれ違うということや、国同士に問題があろうと、学生同士の関係に支障を置きたすことはないのだとわかりました。これからもっと日韓の問題に目を向けていきたいと思うと同時に、個人同士として韓国人ともっと関わっていきたいと感じました。

次に海外での経験についてです。お店に行ったり、タクシーに乗ったりするときに思ったことは、全体的に笑顔が少ないということです。そして自由に働いてるなと感じることもたくさんありました。日本では接客の仕事にスマートフォンを操作していることってなかなかありませんが、韓国ではそれが多かったり、飲み物を飲みながら働いている人も多かったです。そして路面店で接客する人は大体3~4か国語を使いこなしていました。(韓国語、英語、中国語、日本語のうち)愛想がなさそうに見えて、親切な方も多かったです。

次にプログラム内容です。語学堂での授業は平日9時から午後1時までで、それ以外に韓国語のドラマを見るプログラムに参加したり、南山韓屋村というところで韓服を着たり、習字の体験をしました。韓国ドラマを韓国語字幕で見るのは私のレベルには難しすぎましたが、知っている単語が登場するだけでうれしかったです。あと、語学交換というのがあり、バディがついていました。2人の語学堂の学生に1人という形が多かったようですが、私は1対1だったので、予定も合いやすく、水原(スウォン)まで出かけたり、交流する機会がたくさんありました。

最後に今後の進路への影響ですが、元々これからの就職活動に活かしたいと思ったのも理由の一つとして参加したのですが、もっと学びたいという意欲があります。今年は全学共通科目は取れないと思っていましたが、聴講という形ででも、朝鮮に関係する授業を取りたいと思っています。

한국어는 많이 공부했습니다. 한국어 밖에 없었습니다. 한국의 역사와 한일 관계 대해 한국 학생이 어떻게 생각하는지 들을 수 있었습니다. 특히 한국의 위안부 문제에 관해서도 얘기했습니다. 저 또한 한국의

학생과 비슷한 의견을 가지고 있습니다. 학생 때에 이런 경험을 할 수 있어서 아주 좋았습니다.